

## 1. 化学品及び会社情報

**製品名:** ハイボンド ジンクセメント 液  
**会社名:** 株式会社 松風  
**住所:** 京都市東山区福稲上高松町 1 1  
**担当部門:** 技術部品質保証課  
**担当者:** 品質保証課長  
**電話番号:** 075-561-1112  
**FAX 番号:** 075-275-4795  
**E-Mail:** webmaster@shofu.co.jp  
**推奨用途:** 歯科材料

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 1A
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 2（全身）
	区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（肺）

#### 環境に対する有害性

水性環境有毒性 短期（急性）	区分 2
水性環境有毒性 長期（慢性）	区分 2

### GHS ラベル要素



#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

飲み込むと有害（経口）  
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
 重篤な眼の損傷  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 臓器の障害のおそれ（全身）  
 長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（肺）  
 水生生物に毒性  
 長期的影響によって水生生物に毒性

#### 注意書き

[安全対策]  
 添付文書を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
 取扱い後は手をよく洗うこと。  
 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。  
 環境への放出を避けること。

## [応急措置]

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

漏出物を回収すること。

## [保管]

密閉して、室内冷暗所に保管すること。

## [廃棄]

内容を明確にして公認の産業廃棄物処理業者に委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

## 国・地域情報

国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

## 3. 組成及び成分情報

## 3.1 単一製品・混合物の区別

混合物

## 3.2 成分及び含有量

成分名	CAS 番号	官報公示整理 番号(化審法)	含有量 (重量%)
りん酸	7664-38-2	1-422	50-60
水酸化アルミニウム	21645-51-2	1-17	1-10
酸化亜鉛	1314-13-2	1-561	1-5
水	—	—	

## 4. 応急措置

## 4.1 眼に入った場合

直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。直ちに眼科医の診察を受けること。

## 4.2 皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗浄すること。刺激が生じた場合は、医師の診察を受けること。

## 4.3 吸入した場合

新鮮な空気のところを体をも布等で保温して安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

## 4.4 飲み込んだ場合

清浄な水で口の中を洗浄する。気分が悪い場合は医師の診察を受けること。

## 4.5 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

## 4.6 応急措置をする者の保護に必要な注意事項

情報なし

## 4.7 医師に対する特別な注意事項

情報なし



## 5. 火災時の措置

- 5.1 適切な消火剤  
粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、泡消火剤、乾燥砂
- 5.2 使ってはならない消火剤  
棒状水
- 5.3 火災時の特有の危険有害性  
情報なし
- 5.4 特定の消火方法  
速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は適切な消火剤等を用いて風上から行う。
- 5.5 消火を行う者の保護（保護具等）  
必要に応じて呼吸保護具を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置  
関係者以外の立ち入りを禁止する。適切な保護具を着用する。
- 6.2 環境に対する注意事項  
河川、水路や下水に流れ込まないように注意すること。
- 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材  
おがくず、ウェス、砂等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。
- 6.4 二次災害の防止  
着火源を取り除くと共に換気を行う。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

- 7.1 取り扱い  
皮膚、目との接触、蒸気の吸入等を避けるために、適切な保護眼鏡等の保護具を使用すること。
- 7.2 保管  
直射日光や高温になるところは避けて、通気の良い屋内で密封保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 8.1 管理濃度  
設定されていない。
- 8.2 許容濃度

りん酸	日本産業衛生学会（2014年版）	1 mg/m <sup>3</sup>
	ACGIH（2014年版）	TLV-TWA 1 mg/m <sup>3</sup>
		TLV-STEL 3 mg/m <sup>3</sup>
酸化亜鉛	日本産業衛生学会（2015年版）	第二種粉じん 吸入性粉じん 1 mg/m <sup>3</sup>
	ACGIH（2013年版）	LTV-TWA 2 mg/m <sup>3</sup> (吸入性粒子)
		TLV-STEL 10 g/m <sup>3</sup> (吸入性粒子)
- 8.3 設備対策  
局所排気装置、安全シャワー、手洗い・洗顔設備、洗眼器等
- 8.4 保護具  
呼吸用保護具：保護マスク  
手の保護具：保護手袋  
眼の保護具：保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具：保護衣



8.5 特別な注意事項  
情報なし

## 9. 物理的及び化学的性質

臭い：	なし
pH：	データなし
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：	データなし
引火点：	データなし
燃焼性（固体、気体）：	データなし
爆発範囲の上限・下限：	データなし
蒸気圧：	データなし
比重又は嵩比重：	1.59
溶解度（水）：	可溶
$\eta$ -オクタノール/水分配係数：	データなし
自然発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
粘度（動粘性率）：	データなし
蒸気圧：	データなし
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし
その他のデータ：	なし

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

多くの金属を侵して引火性/爆発性気体（水素）を生じる。  
燃焼の際には、りん酸化物などが生成される。

### 10.2 化学的安定性

通常条件下では安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

情報なし

### 10.4 避けるべき条件

直射日光、高温

### 10.5 混触危険物質

情報なし

### 10.6 危険有害な分解生成物

情報なし

## 11. 有害性情報

### 11.1 急性毒性

飲み込むと有害（経口）

りん酸：

経口	ラット	LD50	1250 mg/kg
経皮	ウサギ	LD50	2740 mg/kg



# 安全データシート

	酸化亜鉛： 経口 ラット LD50 > 5000 mg/kg 吸入（粉塵・ミスト） ラット LD50 > 5.7 mg/L
11.2 皮膚腐食性/刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
11.3 眼に対する重篤な損傷/刺激性	重篤な眼の損傷
11.4 呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
11.5 生殖細胞変異原性	データなし
11.6 発がん性	データなし
11.7 生殖毒性	データなし
11.8 特定標的臓器毒性（単回ばく露）	臓器の障害のおそれ（全身） 呼吸器への刺激のおそれ
11.9 特性標的臓器毒性（反復ばく露）	長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ （肺）
11.10 誤えん有害性	データなし
<b>12. 環境影響情報</b>	
12.1 生態毒性	水生生物に毒性 長期継続的影響により水生生物に毒性
12.2 残留性・分解性	データなし
12.3 生物蓄積性	データなし
12.4 土壤中の移動性	データなし
12.5 オゾン層への有害性	データなし
<b>13. 廃棄上の注意</b>	
産業廃棄物として処理に関する法律、規則、条令に則り廃棄する。廃棄する場合は、内容を明確にして産業廃棄物処理業者に委託する。	
<b>14. 輸送上の注意</b>	
14.1 注意事項	火気厳禁で取り扱うこと。
14.2 国連番号・国連分類	番号： 1805 クラス： 8 包装等級： III 適切な積荷名称： Phosphoric acid, solution
<b>15. 適用法令</b>	
15.1 消防法	非該当



## 15.2 労働安全衛生法

りん酸、酸化亜鉛

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2）

## 15.3 化学物質排出把握管理促進法

対象物質無し。

## 15.4 航空法

りん酸

腐食性物質（施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）

## 16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

\*）本製品は、歯科用として設計しておりますので、他の用途のご利用の場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、性能についても事前にご確認の上でご利用ください。